

計画上ブレ!! 上方修正!! 株価倍増期待大の特選20銘柄



全国500万人の個人投資家の財産づくりを応援!!

株主の手帳

213社の
有力情報掲載

3 2017年
月号

定価 700円

2017年3月1日発行 毎月1回1日発行/通巻756号 昭和33年8月6日第3種郵便物認可 昭和32年12月26日国鉄東局特別扱承認雑誌第199号

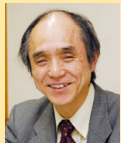
株価倍増 期待大の 特選20銘柄

計画上ブレ!!

上方修正!!



強力連載陣も絶好調!



北浜流一郎の投資指令

米国向け輸出の増大見込める
設備投資関連銘柄に要注目



杉村富生のマーケットレター

トランプ大統領のリスクに細心の注意を!
安川電機/ナブテスコ/ダイワク/ファナック/日本アセットマーケティング ほか



証券経済アナリスト 清水洋介の辛口放談

注視すべきはトランプではなくFRB
~米国の金利情勢が相場に与える影響~



丸山隆之の勝率9割の株式投資

中旬に勝率高く下旬にかけて下がる傾向の3月



IFA 原田茂行のテーマ株大捜査線

[今月のテーマ] デジタルメディア



百戦錬磨・中西文行に聞く 今月の相場格言

「知者は惑わず、仁者は憂えず、勇者は恐れず」

新興専科

決算情報

パスポート/エスプール
エムティジェネックス/ストライク

社長インタビュー
変革の旗手



医療・介護向けの人材紹介・求人サービスを提供
海外企業買収で本格的なグローバル展開へ

エス・エム・エス

後藤夏樹 社長

みんなが知らない、良い会社を探します!!

追い風 メタップス/FFR1/アドバンスメディア/アドソル日進

我が社の戦略 バルニバービ/レントラックス/メディアドウ

英和/イード/早稲田アカデミー/スズデン/オイシックス

マーケット研究 意外な狙い目

バリューHR/プレミアムウォーターHD/MRT/スマートバリュー/エムケイシステム

専門性で勝負する オンリーワン・カンパニー

日本動物高度医療センター/リンクバル/富士タイス/UJSグループ/レアジョブ

Youは何している会社なの?

エスエルディー/ロックオン

女神のイチオシ

ファイナンシャルプランナー 花田浩菜

今月の訪問先

メガネスーパー



株式投資セミナー&イベントNEWS

協力団体・企業 日本全国開催中!!

いちよし証券/I-Oウェルス/アドバイザーズ/SBI
マネープラザ/日本テクニカルアナリスト協会/マ
ネックス証券/一般社団法人金融知識スタディ
協会/エース証券 ほか

追い風

マーケットの拡大や環境の変化をうまく捉え、今後の成長が見込まれる企業を紹介する。

アドソル日進 ● 3837・東1

社会インフラのソフトウェア開発企業 「IoTの全域」をワンストップで対応

2月には東証2部、同年9月には1部に市場変更を果たしている。「IoTで未来を拓く総合エンジニアリング企業」を標榜するアドソル日進。同社の事業は、売上の8割を占める社会システム事業と残り2割をIoTシステム事業で成り立っている。

電力自由化で需要拡大

社会システム事業では、創業以来手掛けてきた電力システムの制御を始めガス、鉄道、航空などの社会インフラにおけるソフトウェアの受託開発。近年では、電力やガスの小売り

自由化による需要が拡大している。

IoTシステム事業では、大手自動車会社の次世代自動車開発において自動運転などの研究開発に参画。またメデイカル関連では、ベッドサイドモニターという病院で患者の状態を集中管理するシステム開発なども手掛けている。

同社は電力システムの制御から対応領域を拡大。通信など社会インフラの系統制御の事業を手掛けて来た。「金融系のシステム構築を手掛ける企業が多い中で、当社は電力・ガス・鉄道、航空、道路などの社会インフラにおけるソフトウェア開発を受託してきました」（上田富三社長）

同社は25年前から、米Lynx社と提携し、産業機器向けのリアルタイムOSを提供。OSを理解する技術者を多数抱え、機器に組込むことができる。そのため、センサーや電子機器から得た情報を、無線通信や広域ネットワークを通じてコンピュータ処理し、電子機器を制御する「IoTの全域」をワンストップ

アドソル日進の値動き



直近株価	1,361円 (17.2/1終値)
1年内高値	1,494円 (16.10/19)
1年内安値	575円 (16.2/12)
単元株数	100
決算期	3月

■2016年3月期 業績		前期比
売上高	104億6000万円	15.7%増
営業利益	5億4100万円	32.5%増
経常利益	5億4900万円	34.2%増
当期純利益	2億8900万円	26.1%増

■2017年3月期 業績予想		前期比
売上高	105億円	0.4%増
営業利益	6億円	10.7%増
経常利益	6億500万円	10.0%増
当期純利益	3億6300万円	25.5%増



アドソル日進 上田富三社長
PROFILE
昭和26年生まれ。昭和49年竹菱電機（現：たけびし）に入社。紀陽コンピュータシステム代表取締役、スターリング常務取締役、日本インフォメーション・エンジニアリング（現：JIEC）を経て、アドソル日進に入社。F&Bソリューション事業部長、取締役、常務取締役を経て、平成22年に代表取締役社長に就任。

Pというプロジェクト管理の資格は4人に1人が持っている。技術のアドソルを大事にしています」（上田富三社長）

また、同社では独自開発したプロジェクト管理ツールにより進捗状況を見える化、クライアントや協力企業と共有している。そのため、中国やベトナムでオフショア開発も行っているが、国内外で同時に開発を行っているが、品質や進捗状況を常時管理している。こうした品質を保ちながら、オフショア開発を行うことでコスト競争力も備わっている。

セキュリティ分野に注力

同社は昨年2月に東証2部、同年9月には1部に市場変更を果たした。

「東証1部上場により、顧客に安心して仕事を任せてもらえるため、より単価の高い仕事を任せてもらいやすくなる」（上田富三社長）

この効果はまだこれからということに成りそうだが、電力自由化の業務では同社が想定していたピークを過ぎて受注が堅調に推移している。他社から同社に乗り換えるケースが増えているためだ。

同社では、2016年5月に中期経営計画を発表。3年後に売上高で110億円、営業利益で8億円を計画している。社会システム事業は

で対応することができる。

「ソフトウェア会社で、IoTの全域をカバーできる企業は少ない」（上田富三社長）

同社の強みは、技術力とコスト競争力にある。

「やはり我々の仕事は人が財産。会社で資格の取得を奨励しており、1人当たりの資格保有数は多い。PM

インフラ関連の老朽化対応などにより底堅い需要が見込まれる。第4次産業革命と言われるIoT分野は今後更なる成長が期待できる。近年注力しているのが、セキュリティ分野だ。IoT・セキュリティ分野のトップランナーとして、ウェアラブルデバイスやミッドウェア等と提携し、サイバー攻撃に対するセキュリティソリューション「LynxSECURE」の普及に努めて行く考えだ。